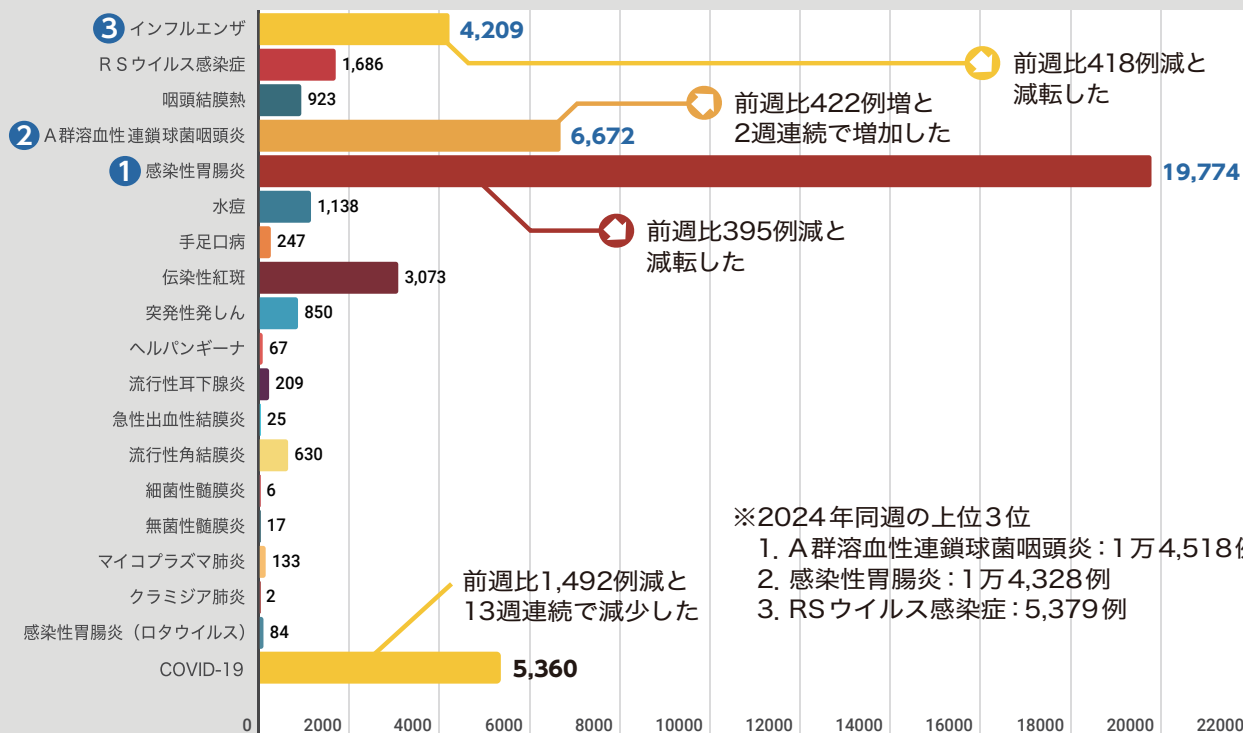




国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトが発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

A群溶連菌、伝染性紅斑の増加続く

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



※2024年同週の上位3位

1. A群溶血性連鎖球菌咽頭炎：1万4,518例
2. 感染性胃腸炎：1万4,328例
3. RSウイルス感染症：5,379例

(国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトのデータを基に編集部作成)

①感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都：2,280例
2. 大阪府：1,764例
3. 神奈川県：1,032例

定点当たりの報告数(8.39)

- | | | | |
|--------------|---------------|--------------|---------------|
| 1. 愛媛県：17.38 | 4. 宮崎県：12.47 | 7. 岐阜県：11.96 | 10. 奈良県：11.08 |
| 2. 大分県：15.44 | 5. 石川県：12.07 | 8. 山口県：11.75 | 11. 福岡県：10.67 |
| 3. 香川県：12.54 | 6. 鹿児島県：11.97 | 9. 群馬県：11.64 | 12. 岡山県：10.64 |

②A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都：1,064例
2. 埼玉県：505例
3. 北海道：470例

定点当たりの報告数(2.83)

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 1. 富山県：5.34 | 4. 北海道：4.61 | 7. 東京都：4.03 | 10. 福岡県：3.81 |
| 2. 茨城県：4.87 | 5. 栃木県：4.59 | 8. 千葉県：3.97 | 11. 愛媛県：3.76 |
| 3. 埼玉県：4.63 | 6. 鳥取県：4.21 | 9. 宮城県：3.83 | 12. 長崎県：3.58 |

③インフルエンザ

報告数

1. 東京都：372例
2. 神奈川県：334例
3. 大阪府：268例

定点当たりの報告数(1.09)

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 1. 佐賀県：3.38 | 4. 沖縄県：2.67 | 7. 長野県：1.69 | 10. 岐阜県：1.60 |
| 2. 秋田県：3.24 | 5. 福島県：2.46 | 8. 岡山県：1.68 | 11. 山口県：1.57 |
| 3. 岩手県：2.84 | 6. 青森県：2.08 | 9. 香川県：1.63 | 12. 愛媛県：1.53 |

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は前週比395例減と減転し、2万例を割り込んだ。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は422例増と2週連続で増加した。なお前年同週はA群溶血性連鎖球菌咽頭炎が1万4,518例で最も多かった。インフルエンザは418例減と減転した。COVID-19は13週連続で減少した。伝染性紅斑は110例増と3週連続で増加した。定点当たりの報告数が警戒レベル(2.00)を超えた地域は、前週の8道県から栃木県(4.56)、群馬県(4.36)、山形県(3.54)、北海道(3.39)、福島県(3.14)、石川県(2.34)、富山県(2.28)、宮城県(2.20)、埼玉県(2.14)、静岡県(2.07)と10道県に拡大した。引き続き感染対策を徹底したい。